

事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別 障がい者グループホーム

事業所名 しらかばハイツ

第三者評価の判断基準

長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【障がい者・児福祉サービス版】共通項目に係る判断基準による

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。
 「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態
 「b」評価・・・aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態
 「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
A	1 利用者の尊重と権利擁護	(1) 自己決定の尊重	① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1 利用者の自己決定を尊重するエンパワメントの理念にもとづく個別支援を行っている。 ■ 2 利用者の主体的な活動については、利用者の意向を尊重しながら、その発展を促すように支援を行っている。 ■ 3 趣味活動、衣服、理美容や嗜好品等については、利用者の意思と希望や個性を尊重し、必要な支援を行っている。 ■ 4 生活に関わるルール等については、利用者と話し合う機会（利用者同士が話し合う機会）を設けて決定している。 ■ 5 利用者一人ひとりへの合理的配慮が、個別支援や取組をつうじて具体化されている。 ■ 6 利用者の権利について職員が検討し、理解・共有する機会が設けられている。 	○各グループホームで月に1度の世話人会議が行われ、利用者個々の状態を共有し、個々のニーズに沿った対応を展開していました。特にコロナ禍においては、外出が思うように出来ない中、ドライブスルーやテイクアウトを利用するなど、満足できるサービスの提供を行い、日用品の補充も個々の意向に沿った商品を迅速に提供出来るような取組みが行われていました。

	<p>(2) 権利擁護</p>	<p>① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 7 利用者の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。 ■ 8 利用者の権利擁護のための具体的な取組を利用者や家族に周知している。 ■ 9 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。 ■ 10 原則禁止される身体拘束を緊急やむを得ない場合に一時的に実施する際の具体的な手続と実施方法を明確に定め、職員に徹底している。 ■ 11 所管行政への虐待の届出・報告についての手順等を明確にしている。 ■ 12 権利擁護のための取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。 ■ 13 権利侵害が発生した場合に再発防止策等を検討し、理解のもとで実践する仕組みが明確化されている。 	<p>○権利擁護委員会を設置して定期的に勉強会を開き、オンブズマンの導入を図り、虐待等のセルフチェックリストを年に2回実施するなど、早期発見の取り組みが行なわれていました。</p> <p>○身体拘束廃止委員会も設置され、状況把握から定期的な検討を実施したり、同意書の作成等適切な仕組みが整っていました。</p>
<p>2 生活 支援</p>	<p>(1) 支援の基本</p>	<p>① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 14 利用者の心身の状況、生活習慣や望む生活等を理解し、一人ひとりの自律・自立に配慮した個別支援を行っている。 ■ 15 利用者が自力で行う生活上の行為は見守りの姿勢を基本とし、必要な時には迅速に支援している。 ■ 16 自律・自立生活のための動機づけを行っている。 ■ 17 生活の自己管理ができるように支援している。 ■ 18 行政手続、生活関連サービス等の利用を支援している。 	<p>○地域生活支援、移動支援や福祉用具の導入など、個別に応じた様々なサービスを利用することで、個々の自立生活に向けた支援を展開されています。</p>

○利用者の尊重と権利擁護は、福祉施設・事業所の使命・役割の基本であり、虐待等の権利侵害を防止することは法令で必須とされる事項です。よって、取組の重要性に鑑み、取組が十分でない場合には、「c」評価とします。

<p>② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。</p>	<p>a)</p>	<p>■</p>	<p>19 利用者の心身の状況に応じて、さまざまな機会や方法によりコミュニケーションがはかられている。</p> <p>■</p> <p>20 コミュニケーションが十分ではない利用者への個別的な配慮が行われている。</p> <p>■</p> <p>21 意思表示や伝達が困難な利用者の意思や希望をできるだけ適切に理解するための取組を行っている。</p> <p>■</p> <p>22 利用者のコミュニケーション能力を高めるための支援を行っている。</p> <p>■</p> <p>23 必要に応じて、コミュニケーション機器の活用や代弁者の協力を得るなどの支援や工夫を行っている。</p>	<p>○視覚からの掲示で伝達を図ったり、日々の状態を職員全体で観察して共有し、相性を考えたグループホームの移動を行うなど、個々の特性を見極めたコミュニケーションを図る事で、よりの確な情報に繋げて、柔軟な対応を行っていました。</p>
<p>③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。</p>	<p>a)</p>	<p>■</p>	<p>24 利用者が職員に話したいことを話せる機会を個別に設けている。</p> <p>■</p> <p>25 利用者の選択・決定と理解のための情報提供や説明を行っている。</p> <p>■</p> <p>26 利用者の意思決定の支援を適切に行っている。</p> <p>■</p> <p>27 相談内容について、サービス管理責任者等と関係職員による検討と理解・共有を行っている。</p> <p>■</p> <p>28 相談内容をもとに、個別支援計画への反映と支援全体の調整等を行っている。</p>	<p>○佐久ふくしネットワークのオンブズマンが定期的に訪れたり、法人内に相談支援専門員を配置して、日頃からの個々の思いを確認できる機会を設けていました。</p> <p>○外出希望や仲間とのトラブルなどの相談事など真摯に受けとめ、利用者の意思を尊重し、計画書に盛り込むなど適切な支援に繋げていました。</p>

<p>④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 29 個別支援計画にもとづき利用者の希望やニーズにより選択できる日中活動（支援・メニュー等）の多様化をはかっている。 ■ 30 利用者の状況に応じて活動やプログラム等へ参加するための支援を行っている。 ■ 31 利用者の意向にもとづく余暇やレクリエーションが適切に提供されている。 ■ 32 文化的な生活、レクリエーション、余暇及びスポーツに関する情報提供を行っている。 ■ 33 地域のさまざまな日中活動の情報提供と必要に応じた利用支援を行っている。 ■ 34 個別支援計画の見直し等とあわせて日中活動と支援内容等の検討・見直しを行っている。 	<p>○地域の情報を収集し、新たにできた事業所を紹介して体験するなど、日中利用したい事業所や行きたいコンサートやカラオケなどの意向も個別支援計画にあげて職員全員で把握して、希望実現に向けた支援に努めていました。</p> <p>○個別支援計画は、より充実した日中活動の提供実現に向けて、半年ごとに職員全員で振り返りを行っていました。</p>
<p>⑤ 利用者の障がいの状況に応じた適切な支援を行っている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 35 職員は障がいに関する専門知識の習得と支援の向上をはかっている。 ■ 36 利用者の障がいによる行動や生活の状況などを把握し、職員間で支援方法等の検討と理解・共有を行っている。 ■ 37 利用者の不適応行動などの行動障がいに個別的かつ適切な対応を行っている。 ■ 38 行動障がいなど個別的な配慮が必要な利用者の支援記録等にもとづき、支援方法の検討・見直しや環境整備等を行っている。 ■ 39 利用者の障がいの状況に応じて利用者間の関係の調整等を必要に応じて行っている。 	<p>○強度行動障害支援者研修を受け、新たな資格取得に挑むなど、利用者への支援の質の向上に努めていました。</p> <p>○月に1回の世話人会議・運営会議・グループホームごとの会議等を開き、利用者の情報を交換し共有を図り、ケース検討をすることで、グループホームの移動や介護設備を整えたり、居心地の良い環境と適切な支援向上に努めていました。</p>

		(2) 日常的な生活支援	① 個別支援計画にもとづく日常的生活支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 40 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本としておいしく、楽しく食べられるように工夫されている。 ■ 41 利用者の心身の状況に応じて食事の提供と支援等を行っている。 ■ 42 利用者の心身の状況に応じて入浴支援や清拭等を行っている。 ■ 43 利用者の心身の状況に応じて排せつ支援を行っている。 ■ 44 利用者の心身の状況に応じて移動・移乗支援を行っている。 	<p>○食事は、個々の嗜好に沿った手作りメニューを提供しているグループホームや、本園に提供している外部の事業所からの配給提供を受けているホームでは、栄養バランスに配慮した食事となりました。誕生日にはケーキを提供したり、イベント時のお楽しみメニューの提供も利用者さんの楽しみとなりました。</p> <p>○高齢の利用者さんは、リハビリパンツを使用し夜間はセンサーマット使用するなど、自立排泄に配慮した安心で安全な支援に努めていました。</p>
A	2	(3) 生活環境	① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 45 利用者の居室や日中活動の場等は、安心・安全に配慮されている。 ■ 46 居室、食堂、浴室、トイレ等は、清潔、適温と明るい雰囲気を保っている。 ■ 47 利用者が思い思いに過ごせるよう、また安眠（休息）できるよう生活環境の工夫を行っている。 ■ 48 他の利用者に影響を及ぼすような場合、一時的に他の部屋を使用するなどの対応と支援を行っている。 ■ 49 生活環境について、利用者の意向等を把握する取組と改善の工夫を行っている。 	<p>○個々の部屋は、掃除の行き届いた清潔感のある、個性あふれる部屋になっていました。</p> <p>○利用者間の相性や意向を聞き取り、グループホームの移動を行うことで、快適な暮らしの提供にも配慮されていました。</p>

<p>(4) 機能訓練・生活訓練</p>	<p>① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 50 生活動作や行動のなかで、意図的な機能訓練・生活訓練や支援を行っている。 ■ 51 利用者が主体的に機能訓練・生活訓練を行えるよう工夫している。 ■ 52 利用者の障がいの状況に応じて専門職の助言・指導のもとに機能訓練・生活訓練を行っている。 ■ 53 利用者一人ひとりの計画を定め、関係職種が連携して機能訓練・生活訓練を行っている。 ■ 54 定期的にモニタリングを行い、機能訓練・生活訓練計画や支援の検討・見直しを行っている。 	<p>○個別支援計画を基に、相談支援専門員と日中利用している事業所との連携で、利用者個々にあった機能訓練や生活訓練の為に専門職の導入を図り身体状況に応じた適切な訓練を受けていました。</p>
<p>(5) 健康管理・医療的な支援</p>	<p>① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 55 入浴、排せつなどの支援のさまざまな場面をつうじて、利用者の健康状態の把握に努めている。 ■ 56 医師又は看護師等による健康相談や健康面での説明の機会を定期的に設けている。 ■ 57 利用者の障がいの状況にあわせた健康の維持・増進のための工夫を行っている。 ■ 58 利用者の体調変化等における迅速な対応のための手順、医師・医療機関との連携・対応を適切に行っている。 ■ 59 障がい者・児の健康管理等について、職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。 	<p>○グループホーム専任の看護師が配置され、個々の身体状況を日頃から把握し、嘱託医との連携を図ることで、緊急時には迅速で適切な対応が整備され、安心した生活を送られていました。</p> <p>○コロナ禍においては看護師の支持を仰ぎ、感染対策の強化を図り、新型コロナウイルス感染症予防対策委員会を随時実施するなど、感染症の拡大防止に向けた取り組みを行っていました。</p>

	<p>② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 60 医療的な支援の実施についての考え方（方針）と管理者の責任が明確であり、実施手順や個別の計画が策定されている。 ■ 61 服薬等の管理（内服薬・外用薬等の扱い）を適切かつ確実に行っている。 ■ 62 慢性疾患やアレルギー疾患等のある利用者については、医師の指示にもとづく適切な支援や対応を行っている。 ■ 63 介護職員等が実施する医療的ケアは、医師の指示にもとづく適切かつ安全な方法により行っている。 ■ 64 医師や看護師の指導・助言のもと、安全管理体制が構築されている。 ■ 65 医療的な支援に関する職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。 	<p>○法人内の保健委員会を中心にグループホームの利用者全員についての健康状態を把握して、通院や服薬処方全般を担い、食事委員会との連携も図る事で、グループホーム利用者全員の身体状況を詳細に伝達するように努め、検討と情報共有を行うなど友好的連携体制が整っていました。</p>
<p>(6) 社会参加、学習支援</p>	<p>① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 66 利用者の希望と意向を把握し、社会参加に資する情報や学習・体験の機会を提供する等、社会参加への支援を行っている。 ■ 67 利用者の外出・外泊や友人との交流等について、利用者を尊重して柔軟な対応や支援を行っている。 ■ 68 利用者や家族等の希望と意向を尊重して学習支援を行っている。 ■ 69 利用者の社会参加や学習の意欲を高めるための支援と工夫を行っている。 	<p>○コロナ禍の中、外出・外泊は制限していますが、県内と地域の感染症レベルが下がった際には、ドライブをしながらテイクアウトできるファストフードに出かけたリ、移動支援との連携で感染症対策を万全に図った外出を実施するなど、柔軟な対応で利用者皆さんの意向に沿った支援を行っていました。</p>

<p>(7) 地域生活への移行と地域生活の支援</p>	<p>① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 70 利用者の希望と意向を把握し、地域生活に必要な社会資源に関する情報や学習・体験の機会を提供している。 ■ 71 利用者の社会生活力と地域生活への移行や地域生活の意欲を高める支援や工夫を行っている。 ■ 72 地域生活への移行や地域生活について、利用者の意思や希望が尊重されている。 ■ 73 地域生活への移行や地域生活に関する課題等を把握し、具体的な生活環境への配慮や支援を行っている。 ■ 74 地域生活への移行や地域生活のための支援について、地域の関係機関等と連携・協力している。 	<p>○法人中長期計画の一環として、平成13年度から本園入所者をグループホームに徐々に移動して小規模分散化を図り、地域生活移行を見据えた取り組みを展開されていました。</p> <p>○地域に常設されている就労継続支援B型事業所と生活介護を利用し、新たに開設された近隣事業所にも利用者を送るなど、地域参加への積極的な取り組みが行なわれていました。</p>
<p>(8) 家族等との連携・交流と家族支援</p>	<p>① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 75 家族等との連携・交流にあたっては、利用者の意向を尊重して対応を行っている。 ■ 76 利用者の生活状況等について、定期的に家族等への報告を行っている。 ■ 77 利用者の生活や支援について、家族等と意見交換する機会を設けている。 ■ 78 利用者の生活や支援に関する家族等からの相談に応じ、必要に応じて助言等の家族支援を行っている。 ■ 79 利用者の体調不良や急変時の家族等への報告・連絡ルールが明確にされ適切に行われている。 ■ 80 利用者の生活と支援に関する家族等との連携や家族支援についての工夫を行っている。 	<p>○コロナ禍で帰省も許可できない中、ホームページの更新を図り、法人内の行事やしらかばハイツの様子を配信したり、「たてしなだより」も定期にご家族に配送し、電話やzoomを利用した情報伝達を工夫するなど、家族との連携に努めていました。</p>

3 発達支援	(1) 発達支援	① 子どもの障がいの状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a) <input type="checkbox"/>	81	子どもの発達過程や適応行動の状況等を踏まえた発達支援（個別支援）を行っている。	対象外	
			b) <input type="checkbox"/>	82	子どもの発達に応じて必要となる基本的日常動作や自立生活を支援するための活動や取組について、個別活動と集団活動等を組み合わせながら実施している。		
			c) <input type="checkbox"/>	83	子どもの活動プログラムについてはチームで作成するとともに、子どもの状況に応じた工夫や見直しを行っている。		
				<input type="checkbox"/>	84	子どもと保護者に対し、学校及び保育所や認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有、連携・調整をはかっている。	
4 就労支援	(1) 就労支援	① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a) <input type="checkbox"/>	85	利用者一人ひとりの働く力や可能性を引き出すような取組や工夫を行っている。	対象外	
			b) <input type="checkbox"/>	86	利用者一人ひとりの障がいに応じた就労支援を行っている。		
			c) <input type="checkbox"/>	87	利用者の意向や障がいの状況にあわせて、働くために必要なマナー、知識・技術の習得や能力の向上を支援している。		
				<input type="checkbox"/>	88		働く意欲の維持・向上のための支援を行っている。
				<input type="checkbox"/>	89		仕事や支援の内容について、利用者への定期的な報告と話し合いを行っている。
				<input type="checkbox"/>	90	地域の企業、関係機関、家族等との連携・協力のもとに就労支援を行っている。	

		② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	a)	<input type="checkbox"/>	91 利用者の意向や障がいの状況に応じた仕事時間、内容・工程等となっている。	対象外
			b)	<input type="checkbox"/>	92 利用者が選択できるよう、多様な仕事の内容・工程等を提供するための工夫を行っている。	
			c)	<input type="checkbox"/>	93 仕事の内容・工程等の計画は、利用者で作成するよう努めている。	
				<input type="checkbox"/>	94 賃金（工賃）等を利用者にわかりやすく説明し、同意を得たうえで適切に支払われている。	
				<input type="checkbox"/>	95 賃金（工賃）を引き上げるための取組や工夫を行っている。	
				<input type="checkbox"/>	96 労働安全衛生に関する配慮を適切に行っている。	
		③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	a)	<input type="checkbox"/>	97 職場や受注先の開拓等により仕事の機会の拡大（職場開拓）に努めている。	対象外
			b)	<input type="checkbox"/>	98 障害者就業・生活支援センターやハローワーク等との連携を定期的かつ適切に行っている。	
			c)	<input type="checkbox"/>	99 利用者の障がいの状況や働く力にあわせて、利用者与企业とのマッチングなどの就職支援を適切に行っている。	
				<input type="checkbox"/>	100 就労後の利用者や職場との関係づくりなど、職場定着等の支援を必要に応じて行っている。	
				<input type="checkbox"/>	101 利用者や地域の障がい者が離職した場合などの受入や支援を行っている。	
				<input type="checkbox"/>	102 地域の企業等との関係性の構築や障がい者が働く場における「合理的配慮」を促進する取組・働きかけを行っている。	